

# 県民のいのち、平和と人権を守り 原発ゼロ、憲法が生きる県政へ

2026年7月17日 日本共産党茨城県委員会

## 県民のみなさんへ

今年12月に茨城県議会議員選挙がたたかわれます。3期目の大井川県政を検証するとともに、大型開発優先の県政から県民の暮らしを守り抜く県政に変える選挙です。同時に、軍事費を大幅にふやし、原発再稼働を推し進める自民・維新政権のもとで、自民党が7割を占めている県議会が高市政権に追随する県政で良いのかが問われます。

いま、米国・イスラエルによるイラン攻撃が円安に拍車をかけ、県民の暮らしや営業は窮地に立たされています。日本共産党は物価高から県民生活を守り抜き、憲法の立場で平和を守れと求めてきました。

全国津々浦々で「戦争やめよ」「憲法守れ」の声がひろがる中、全国の統一地方選に先駆けてたたかわれる茨城県議選で日本共産党が勝利することは、自民・維新政権に審判をくだし新しい政治を生み出すチャンスになります。

暮らしの願いを実現し、県政のチェック役として働く日本共産党の勝利へ、みなさんの力をお寄せください。ご支援をよろしくお願いいたします。

## 日本共産党の基本姿勢

### ① 大井川県政のチェック役—ムダな開発ただし暮らし・福祉の充実求める党

大企業呼び込み型の工業団地造成や、常陸那珂港建設と霞ヶ浦導水事業など大型開発の中止を要求。公共施設利用料や県立学校授業料の相次ぐ値上げに反対するほか、大井川知事の政治資金パーティー問題や庁内ハラスメント一掃をめぐる知事の責務をただす論戦に全力。

### ② 原発ゼロをつらぬく党—企業・団体献金を受け取らずブレずに追及

内部告発を受け、東海第二原発の防潮堤施工不良を公表。県議会でも原子力行政や原発事業者としての責任を追及するとともに、東海第二原発の廃炉を要求。県民運動とも連帯し、原発ゼロの茨城へ奮闘。

### ③ 平和を守る党—反戦平和104年。百里基地のミサイル配備に反対

百里基地での共同訓練の中止、基地の強化や長距離ミサイルの配備撤回を県議会でも求める。「非核平和茨城県宣言」を生かし、平和行政のさらなる推進を要求。